

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R6 (2024) .1.24

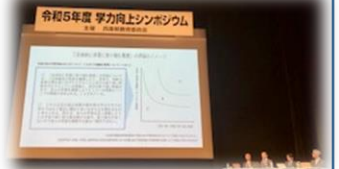
No.13

豊岡市 HP→左中段「暮らし・行政」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ
豊岡市のホームページにもアップしています

令和5年度学力向上シンポジウム～各校で共有を！～

- テーマ 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をめざして」
- とき 1月19日(金) 13:10～
- 会場 アクリエ姫路(大ホール)

※詳細は、県教委義務教育課のHPをご参照ください!



国語

- 大村はま先生の実践を例に…例:資料を個人で調べる(個)、「目の付け所のヒント」資料配付、報告書の作成:個人(個)、グループ(協)…
- ➡個別最適な学びと協働的な学びを念頭に授業をプログラミングする。
- ➡教員の醍醐味。自分と他者と学びを往還し、皆で深い読み(考え)を作り上げる。
- ➡学ぶ中で、子どもの「個の自立」が大切。

算数・数学

- 本質的な理解が不十分、発展的な考察から統合的な考察に向かう深い学びの不足
- ➡予習と連動した授業(予習・復習サイクルの確認、取り組む内容の明確化、予習内容の発揮)
- ➡ICTの活用(県教委デジタルガイドの活用、ロイロノート:学習内容共有、他者参照大切に)
- ➡指導の個別化と学習の個性化(ICTの活用は効果的、例:カフト等) =個別最適な学び
- ➡聞く・読み取る活動の重視(聞く活動:よい聞き手、問いかけていく活動:よい質問者) =協働的な学び

英語

- 言語の習得をするためには、時間数が足りない。足りない分を教室外に求める必要がある。
例:ICT(生徒用デジタル教科書の完全配布等)、SNS、AIの効果的な活用が必須 =個別最適な学び
- 授業では、仲間がいるからできる活動を推進(言語活動、形成的評価、中間指導等) =協働的な学び
- ➡個別最適な学びと協働的な学びを单元ごとに一体的に計画することが大切。

兵庫県教育委員会より

- ★令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえ、「学びのデジタルガイド」(「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科特有の「見方・考え方」を働かせる授業改善の指導事例集)に事例を追加しています。
- ★取り上げた事例の学びと日常生活を結びつける児童生徒向け「学びのデジタルガイドプラス」にも事例を追加しています。
- ★二次元コードからダウンロードし、指導力向上にぜひお役立てください。

